



## クリスマス特別号

### かつての桃源郷、空爆に続いて地震、地獄に

アフガニスタン国クナールの震源地  
2025年9月7-12日

神戸国際支縁機構の岩村義雄と、「カヨ子基金」代表の佐々木美和の2名は孤児の家建設のため岩ばかりの辺境地に渡河(「サンテレビ」(2025年10月3日午後7時00分放映))。

機構が2001年に活動をはじめ、手本にした中村哲「1946-2019」医師の歩みの原点の地でもありました。

神戸国際支縁機構が活動を始めた2001年の9・11テロ以降、アメリカ史上最長の戦争(2001年-2021年8月31日 cf. ベトナム戦争「1964-1973」参照)の結果、

バイデン大統領がアメリカ軍の撤退を決断。8割が険しい山岳地帯のため地上戦で圧倒的な軍事力を誇る米ソも泥沼化では歯が立ちませんでした。ソ連軍「1979-1989」が侵攻している時に、アメリカはアルカイダ、タリバンなどに武器供与を行い、後に世界に牙を剥くゲリラを育てました。機構は米軍の無差別爆撃で親、家、就職の道が断たれ、ゲリラになるしかなかった中東の悲劇に少しづつ寄り添うようになりました。何もたいしたこと

ができていません。

クナール川の  
中村医師の山田  
堰は延々と続き  
ます。河川に沿って目前に見る江戸時代の堰は圧巻です。干ばつの大地のクナール川をオアシスの用水路に



アフガニスタン記者会見 2025年10月3日

2025年(令和7年)10月28日

**アフガンに児童養護施設**

神戸国際支縁機構が建設計画

「カヨ子基金」代表の佐々木美和と「カヨ子基金」代表の岩村義雄がアフガニスタン国クナール県に児童養護施設を建設する計画を発表した。施設は、孤児や障害児を養育し、教育を受けるための場所となる。建設費用は、機構が負担する。施設は、2026年に完成予定。施設は、クナール川の水源を守るためにも重要な役割を果たす。施設は、クナール川の水源を守るためにも重要な役割を果たす。施設は、クナール川の水源を守るためにも重要な役割を果たす。

『文化時報』(2025年10月28日付)

▶マウラヴィー・アブドゥル・ハキーム高官との約束



◀ザエド・ハムさん  
2025年9月9日  
クナールにて

変えました。思わず涙が頬に伝わりました。中村は、2000年から「100の診療所より、1本の用水路を」と、本職の医療を人に委ねます。灌漑に重点を置くようになりました。キリスト者でありながら、イスラーム教モスクやマドラサ(イスラーム神学校)も建設クナールでザエド・ハムさん(37歳)が近づいてこられました。6年前にシェマークス・モスクで8ヶ月間、建設にナカムラと行動を共にしたと、言われました。涙をたくわえ、抱き合いました。荒れ地にサフランの花が咲くようになります。

2025年(令和7年)8月29日

**ミャンマー人男性が来日 白内障治療の支援訴え**

ミャンマー人の白内障患者が来日し、治療を受けるための支援を訴えた。患者は、白内障による視力低下が日常生活に支障を及ぼしている。治療費用は、患者自身では負担できない。支援を訴えた。患者は、白内障による視力低下が日常生活に支障を及ぼしている。治療費用は、患者自身では負担できない。支援を訴えた。

『神戸新聞』(2025年8月29日付)

そんなアフガニスタンの恩人中村のおかげで、今回、タリバンの高官との面談が許されました。彼は「カヨコ・ナルドレン・ホーム」の建設の土地を提供すると約束してくださいました。「カヨ子基金」のホームページをご覧ください。↓ <https://kayokofund.jp/>

**ミャンマー**

アジアでもっとも医療が遅れている地域、とりわけ白内障の手術が普及していません。最貧国のミャンマーで白内障手術を無料で提供できるように助けて欲しいと神戸国際支縁機構にもちかけられました。2025年4月1日、ヤンゴンで知り合ったマンダレー在住のウィンナイン氏とのやりとりが始まりました。ウィンナイン氏は目の治療で「神の手」とミャンマーで暮わっていた眼科医藤田善史医師(徳島市開業)と接見するために来日。『神戸新聞』(2025年8月29日)。神戸国際支縁機構のマイケル・シヤクルトン理事と「カヨ子基金」代表佐々木美和の3人と藤田先生の6人が話し合いました。目の不自由な貧しいミャンマーのために協力いただければ幸いです。

**ヤマザキ**

世界のパン

**ヤマザキ**

Otsuka

株式会社 大塚製薬工場

〒772-8601  
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115  
TEL 088-685-1151(代表)

**庄司会計事務所**

税理士 庄司慈明  
税理士 齋藤 茂

石巻市蛇田字中埠 21  
0225-93-8743

想いをかたちに 未来へつなぐ

**TAKENAKA**

竹中工務店

〒541-0053 大阪府中央区本町 4-1-13  
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

# 唐箕、脱穀機にはしゃぐ園児

熊本支部長 大島健二郎

便利な時代になっています。機構は江戸時代から使われてきた道具を用いて、「復幸米」づくりに取り組んでいます。冬は備中鍬（先が三股）で土を掘り起こします。春は園児たちによるトロトロ屑づくり、田植えです。11月4日、「足踏み脱穀」（山田徳次郎&初子夫妻所有）、「唐箕」（箱型で、人工的に風を起し、風をあてて実のつまった「籾」の重さで籾とその他のものを分別できる便利な道具。糞毛良介&かず子夫妻から譲渡）に熊本県球磨郡相良村のなつめ保育園（緒方眞喜代園長）は挑戦しました。相良村に園児たちのはしゃぐこえが響き渡りました。「園児が取っ手を回しながら脱穀した様子を入れるとわらなどが吹き飛び、初めて目にした農具に見入っていた」（『人吉新聞』（2025年11月11日付））。



唐箕



『人吉新聞』（2025年11月11日付）。



黒田弘行先生(左)と木本雅己事務局長(右)

# ダムのない日本に

1993年に市民たちの願いではじまった「清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域市民の会（略称 手渡す会）」の黒田弘行顧問、木本雅己事務局長を訪問しました。2025年8月5日（火）、熊本県人吉市の「くま川ハウス」に神戸国際支縁機構の5人は人吉市の地形、歴史、生態について、講義に耳を傾けました。お二人は球磨川、川辺川の豊かな自然を残すために調査、研究セミナー、出版などを通じて啓蒙してこられた学者でいらっしゃいます。黒田先生は91歳とは思えない学識豊かな裏付け、発題、使命を明瞭にお語りいただきました。アフリカでの開発による自然破壊などに対してどんな保護ができるか示唆に富んだ体験も語られました。ダムによるとりかえしのつかない郷土の荒廃などについて、無知であった私たちに日本の子々孫々への責任について目を開かせていただきました。神戸国際支縁機構、「カヨ子基金」の働きも先祖から受け継いでいる自然を損なわず、美しい郷里、里川、生き物と共生していくことについて大きな刺激を受け、感謝しました。

# 『真平家物語』「ひえつき節」の伝説 (第十六回)

熊本県緒方医院院長 緒方 俊一郎

鬼山御前の逸話を紹介したので、五家荘と同様平家の残党が隠れ住んだという五家荘の隣にあたる、ひと山隔てた日向の国（宮崎県）の椎葉村に伝わる民謡「ひえつき節」にまつわる逸話を紹介します。

平安時代の末期の元暦2年／寿永4年3月24日（1185年4月25日）に長門国赤間関壇ノ浦（現在の山口県下関市）で行われた壇ノ浦の戦いに敗れた平家の残党の一部は、熊本県五家荘に落ち延びてひっそりと暮らしてきたことを述べました。その九州山地の山中・五家荘での鬼山御前とよく似た逸話が椎葉村で語り継がれてきました。その物語を歌にしたものが宮崎県民謡として知られている「ひえつき節」です。

平家一族の残党が椎葉村に潜んでいることを知った源頼朝は屋島の戦いで活躍した那須与一宗高に追討に向かうよう命令しました。しかし与一は病気のために弟の那須大八郎宗久に討伐を命じます。こうして椎葉に向かった大八郎が険しい道を越え、やつのことで隠れ住んでいた落人を発見しました。

だが落人たちのありさまは、かつての栄華の面影もなく、ひっそりと農耕をやりながら暮らす平家一門の姿でした。落人たちのありさまを見た大八郎は、哀れに思い追討を断念し、幕府には討伐を果した旨を報告しました。

普通ならここで鎌倉に戻るところですが、平家落人たちのあまりの貧しい暮らしに大八郎は屋敷を構え、この地にとどまったのです。そればかりか、平家の守り神である厳島神社を建て、農耕の法を教えるなど彼らを助け、協力し合いながら暮らしたといえます。

そのような中で、平清盛の末裔である鶴富姫と大八郎との出会いがありました。

**TAMANOHADA**

代表取締役 三木 晴信

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12  
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124  
URL: www.tamanohada.co.jp

近き良きパートナーを目指して

設計 住宅・教会・福祉施設など  
監理 一級建築士 南 俊治

□ 神戸市中央区八幡通4-2-10-201  
□ K: 090-6983-4377  
□ E-mail: CQN05405@nifty.com

**南俊治建築研究所**

https://www.nishimura-architect.com

弁護士法人  
芦屋西宮市民法律事務所

**津久井 進**  
日弁連災害復興支援委員会委員長  
兵庫県弁護士会前会長

TEL: 0798-68-3161

**ミヨシ共栄株式会社**

東京都墨田区緑 3丁目8番12号

14回目の復幸米の収穫

統合本部長 村上裕隆

足踏み脱穀機を保管してくださっている津田新一さんの倉庫から北村恭男理事と二人で宮城県石巻市の田んぼに運搬しました。翌日園児たちが来るのに備えます。天日干ししていた稲架掛けの稲を園児たちと一緒に扱います。亀山繁さんが組み立てた稲架掛けを解体して、津田さんの倉庫に運びます。「復幸米」づくりも14回目でした。

2024年から翌2025年にかけて日本中を震撼とさせたコメ不足があります。コメの買い占め、品薄が発生しました。米の価格が日本中で値上がりしました。一方、生産農家はぜんぜん潤いがありません。後継者不足、離農、遊休田が九州から北海道まで席巻しています。米騒動、価格高騰、気候変動による米の収穫量減少は瑞穂の国とは思えません。私たちの主食である「米」は、この先も私たちの食を支える身近なものでしょうか。私たちまったくの素人の学生、会社員、教員たちにとり、大海原に放り出された小舟のような心細さがありました。

東日本大震災の2011年以降、地面に這いつくばりました。スコップを持ち、津波で荒れ果てている田にがむしゃらに向かっています。しかし、どうしたらおいしい、安全な、コメができるかわかりませんでした。2011年、コメの作り方を「Jus 農林漁」の講座を開き、兵庫県神戸市の有機農法の第一人者の保田茂先生(NPO法人兵庫農漁村社会研究所理事長・神戸大学名誉教授)から学びました。兵庫県下7か所で有機農業の学校や教室を設置し無農薬、有機、除草剤なしの農法を教えておられます。現在も佐々木美和事務局長は兵庫県たつの市で開講している有機農業教室に通っています。保田先生は長年、反農薬運動の第一人者です。神戸国際支縁機構は自然栽培、おいしいコメのため、「復幸米」づくりのため、田植えの時期には、宮城県大崎市の有機農家千葉富男さんの所に行つて、ネオニコチノイド系農薬がかかっていない苗を毎年購入しています。今年は例年になく、穀粒が小粒でした。水不足などいろいろな原因がありますが、くじけず、伝えていきます。

昔ながらの脱穀作業に挑戦

長浜幼稚園

実りの秋を迎え、石巻市さくら町の学校法人渡波学園長幼稚園(長浜幼稚園)の園児と保護者約20人が、渡波前野の田んぼで昔ながらの「足踏み脱穀機」を使った稲の脱穀体験を通して農業への関心と自然の大切さを



園児は、驚いた様子で、回転する脚に足をあてて、稲を脱穀して見せてはしゃいでいた。体験した園児は、稲刈りや脱穀の楽しさを味わった。園児たちも大きくなりました。お米がパラパラ飛んでおもしろかった。たまふりかけを食べたいと嬉しそうに話していた。脱穀した米は約300kgで精米したうえで、500gずつに分けて全園児と渡波地区で一人暮らしをしている高齢者に配布する。

『牡鹿新聞』(2025年11月7日付)



稲刈り秋晴れの間に

手刈りに挑戦

稲刈り体験活動は、秋の収穫祭として、園児と保護者約20人が、渡波前野の田んぼで昔ながらの「足踏み脱穀機」を使った稲の脱穀体験を通して農業への関心と自然の大切さを



『石巻かほく』(2025年9月17日付)

こがね色の稲穂いっぱい



園児が大人と一緒に稲刈りを体験

長浜幼稚園年長児 来月は脱穀に挑戦

石巻市さくら町の長浜幼稚園(長浜幼稚園)の園児と保護者約20人が、渡波前野の田んぼで昔ながらの「足踏み脱穀機」を使った稲の脱穀体験を通して農業への関心と自然の大切さを

『石巻日日新聞』(2025年9月18日付)

31年ぶり、ゼロから翻訳した新しい聖書 『聖書 聖書協会共同訳』 -2018年12月発行- 全国書店にて好評発売中です www.bible.or.jp 日本聖書協会

うきうき健康倶楽部 ~肋骨エクササイズスタジオ~ TEL:080-3034-0011

人によし、社会によし、未来によし。 ミヨシ油脂株式会社 〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1 http://www.miyoshi-yushi.co.jp

KINSAN 夢に近づく 夢を産み出す... 近畿産業信用組合 総合コールセンター 0120-111-019

事務局便り

理事長 本田寿久

胎児のいのちの尊厳

「不幸な子どもの生まれない運動」は、1966年に兵庫県で始まりました。最初の知事は伊藤博文 [1841-1909]。中央官僚中心の有司専制は明治6年から始まり、歴代の兵庫県知事は中央から遣わされてきました。日本の中央主権体制の構造の要となってきました。障害児を「不幸な子ども」とし、その「出生防止」を推進。「障がい者は不幸で、生まれてこないほうがよい」といった差別・偏見を社会に根付かせました。キリスト教信者も無批判で受け入れていた実例があります。「障がい者は不幸を作ることしかできない」という相模原障がい者殺傷事件であらわになりました。

医学者、官僚、世間は人の尊厳を無視してきました。生命を軽視し、身ごもっている母胎に対する憐愍な価値観について神戸国際支縁機構の島蘭 進理事長が8月22日、「阪神宗教者の会」で話してくださいました。これからも倫理において、胎児のいのちをゲノムのレベルで末梢してしまわない社会にと願います。



『文化時報』(2025年9月19日付)

趣旨に賛同して下さる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

- 郵便振替 口座 00900-8-58077 加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構
- 三菱UFJ銀行 462(三宮支店) 普通 3169863 神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には書ける方は『国名』を書き添えてください。

(一社) 神戸国際支縁機構

ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

被災地への支縁物資もお願いします。

年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月~翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送ります。

海外の孤児のために支縁金をお願いします。

岩村義雄セミナー 毎月第4月曜日 午後6時半~ ミント神戸17階

「小さくされた人々のための福音」講座 休会

編集後記

入院生活を振り返って

アフガニスタン・ボランティアから帰国後、今までのつもりつもった疲労などのため死線を彷徨いました。神の憐れみでしょうか。海外をはじめ日本各地で被災なされた家族のようになった方々に希望の灯をとますように、12月2日、医師たちは歩けるように服してくださいました。入院中も多くのの方々のお祈りとご厚情に感謝しています。

朝霧病院、神戸大学医学部付属病院ではじめて教えられました。16歳の時、恩師末次一郎 [1922-2001] は、「自分を捨ててその土地に順応してしまおうとするからこそ、いままで経験したことのない低い生活が平気でつづけられる」と私に諭しました。ボランティアこそ、未開と貧困に挑戦する道と思ってきました。入院してはじめて看護のお働きを身近に拝見しました。注射器や薬だけの医療ではありません。昼夜を問わず、ケア(治療)より、ケア(手当てする) 献身的な働きに接し、打ち砕かれました。

1872年に来日した医師ジョン・カッティング・ベリー [1847-1936] がこの病院だけでなく、日本で最初に監獄調査をし劣悪な環境を解放するために西日本を回りました。神戸国際支縁機構は宣教師ベリーに倣う働きです。人権を軽んじられている人々を解放する働きを始めた病院に入院できた恵みを感謝しています。 岩村義雄

救援金、維持会費のご協力を感謝します。(敬称略)

2025年7月20日~11月15日

1,236,405円

佐々木美和、岩村義雄、さかいようこ、秋田喜代子、中條和子、後藤由美子、宝塚栄光教会、岩間 洋、岩間千恵子、土手 朋、沖浦宏隆(千葉県布良)(3)、前川和弥&幸子(4)、本田大輔(2)、嶋田博信(千葉県布良)、柳澤省一、中村秀樹&弘子、吉田 隆、田口秀明(千葉県館山市勝蔵寺住職)、ミノトノリコ、宮本博美、石川隆教(千葉県南房総市)、水谷弥生、村上安世、河村ひとみ、南 俊治、木村ふみ子(宮城県石巻市)、いえしま自然体験協会 萩本義朗、千葉幸一(宮城県石巻市)(3)、藤野知香、的野慶子、山本陽子(3)、丹野恵子(宮城県石巻市)、尾上健一、穂積修司、藤原りつ子、穴戸義光(宮城県石巻市)、廣瀬素子、福寿恵美、池永タケコ、阿部和夫(宮城県石巻市)(2)、松本真祐、大嶋善直、松下和子、増子啓三、東原良学、乾祐子、P・ティ・オ・ア・ン(神戸ベトナム人会会長)、大島健二郎(2)、日本基督教団鷹取教会(神谷順子、堤いつ子、村上三喜子)、岩本久吉&眞子(福岡県松本)、伊吹三樹雄、原 浩司、青木(2)、弓矢健児、福田雄二(熊本県相良)、高島邦夫、相浦恵子、樋口喜寿江(福岡県松本)、根守良一、古川直子、高橋優子、梶原ミドリ(福岡県松本)、生活協同組合コープ神戸、今村佳代子(佐賀県大町町)、松本邦彦、辻本久夫、東田寿啓、金 恒勝、新時代の日本を考える兵庫フォーラム(西垣秀樹)、神戸ユニオン教会、北村恭男(3)、岸田真佐人、小笠原貞夫(2)、釜田 顕(熊本県人吉市)、土手ゆき子、本田寿久、野田健二、櫻井由里子、早瀬裕子

支縁を感謝します。

フードバンク関西、多田公太郎&赤松慶親からじゃがいもなど(2)、中村優子(佐賀県武雄市)からコーヒー、鶴池美貴(佐賀県大町町)からキラゲ、大島 修&敏子から桃、前川和弥&幸子から菓子(3)、土手ゆき子、土手 朋から切手、梶原征子(福岡県松本)からコーヒー、出井洋子(福岡県松本)から鹿肉、鳥越直男(熊本県人吉市)から入浴券、木本雅己(熊本県人吉市)から書籍など、中村秀樹&弘子から菓子(3)、坂口昭信&由紀子(珠洲市寺家)からタコ(2)、沖浦宏隆(千葉県布良)から鮮魚、菱毛良介&かず子(熊本県相良)から唐菓など、松本真祐から折り紙作品(2)、(株)小坂商店の小販修一からプロパンガス、本田寿久から炊き出しセット、菊地恵子(宮城県渡波)からキルト作品、本田 巧&敏子(宮城県石巻市)から海苔、丹野典彦(宮城県渡波)から海苔、丹野恵子(宮城県石巻市)から海苔、樋口多恵子(宮城県石巻支部長)から菓子など、石巻森林組合から農具、(社)神戸国際支縁機構総会会場献金、有田 貞一&美榮子から焼きそば、緒方礼子(熊本県相良)から玄米スープなど、土手ゆき子からスープ(3)、大島健二郎からルルドの水

